

日本音楽知覚認知学会 令和元年（2019年）第1回理事会 議事録

日時：令和元年（2019年）6月1日（土曜）午前10時00分～11時00分

場所：大阪樟蔭女子大学

参加者（敬称略） 中島祥好，福井一，羽藤律，吉野巖，高橋範行，森下修次，小堀聡，荒川恵子，三雲真理子，安井希子，桑野園子，小川容子，山崎晃男，谷口高士，川上央，松本じゅん子，西村明，亀川徹，三浦雅展，大浦容子

オブザーバー：津崎実，松井淑恵，松永理恵，岩宮眞一郎，大串健吾，星野悦子

議題

1. 第16回 ICMPC 大会について：山崎晃男常任理事（国際渉外担当）

前回の理事会において，川上央常任理事が会場を担当する旨が提案されたのを受け，その後，宿泊施設の確保を試みたものの，確保が困難であることが判明した．その後，APSCOMへ2021年開催の意向を伝え，現在は，APSCOMが開催概要（プロポーザル）を待っている状態である．引き続き川上央常任理事を中心に進めていく旨が確認された．

2. 令和元年度予算案について：川上央常任理事（事務局長）

予算案が別紙のとおり提案され，承認された．特にJ-STAGEへの論文登録の体制をとるために，事務局人権費の一時的増強が提案され，承認された．

3. 会費未納者の扱いについて：川上央常任理事（事務局長）

H30年末に会費未納であり，その後も会費請求に応じなかった7名の会員について，H31年3月末で除名となることが承認された．来年度に同様の処置を受ける可能性のある会員について対策を検討した．

4. 次回秋季研究発表会について：谷口高士副会長（研究発表会担当）、松本じゅん子理事（研究発表会担当）

今回は八戸工業大学において，11月9～10日で開催することが審議され，認められた．

5. 30周年記念出版について：星野悦子編集代表

出版状況について，4月初旬に全編集委員による再校正が完了した．その後，出版社の担当者が入院されたため，すべてのステップが停止した．その後，別の編集者が担当に加わり，現在は2名体制で進められており，今年秋頃には出版する見込みであることが報告された．会員配布に伴う支出については，学会誌出版積立金より1,458,259円の支出が前回の理事会で認められており，その担当を次期事務局長とすることが提案され，承認された．

報告

1. 平成30年度決算報告：川上央常任理事（学会事務局担当），吉野常任理事

決算について報告された。また、ICMPC の支出について次期体制の下で進めていただくことが議論された。また、支援をもらった人にその旨を発表内で示してもらおうと共に、本支援事業の和名を設定することが承認された。また、30周年記念出版のための予算案を、支出予定の項目（出版積立金収支報告書）に示す必要があることが報告された。

2. 平成30年度監査結果：岩宮眞一郎監事、仁平義明監事、星野悦子監事  
監査報告が報告され、問題は認められなかった。

3. 会員数状況報告：川上央常任理事（学会事務局担当）  
会員総数が288名、内名誉会員は3名、正会員が246名、学生会員が39名であった。

4. 平成30年度事業報告：中島祥好（会長）  
平成30年度は春にあいぽーと佐渡、秋に龍谷大学深草キャンパスで研究発表会を実施したことが報告された。ポスター選奨を2名に授与したことが報告された。学会誌については24巻1号を発刊したことが報告された。

5. 平成30年度秋季研究発表会 ポスター発表選奨受賞者について：三雲真理子理事、小堀聡理事（学会賞担当）  
ポスター発表選奨を、松永理恵氏（神奈川大）に授賞したことが報告された。

6. 平成30年度秋季研究発表会 研究選奨について：三雲真理子理事、小堀聡理事（学会賞担当）  
三浦雅展研究選奨選考委員長および3名の選考委員による審議の結果、該当者なしと決定したことが報告された。

7. 令和元年度度春季研究発表会 研究選奨選考委員の委嘱について：三雲真理子理事、小堀聡理事（学会賞担当）  
岩宮先生に委員長を委嘱し、その後、3名の選考委員に委嘱したことが報告された。

8. 「音楽知覚認知研究」の発刊と今後の予定について：西村明常任理事（編集委員長）  
24巻2号については、2月に入稿済みであり、現在は初校が終わっている段階である。原著論文が1件、寄書1件、解説1件である。25巻1号については理事会の議事録が届き次第入稿となる。原著論文1件、資料論文2件であることが報告された。オープンジャーナル化については、発行後すぐにオンラインで閲覧可能となることが報告された。

9. 次期役員選挙の開票結果について：亀川徹理事（選挙管理委員長）  
開票結果について報告された。なお、次回から選挙管理委員会委員長については、被選挙人以外から選出すべきであろうという意見が交わされた。

10. 顧問をお願いしていた大山正先生について：中島祥好会長

大山正元顧問に中島祥好会長が連絡したところ、音楽知覚認知研究については今回から送付を希望された旨が報告された。

11. 研究会担当について：谷口高士副会長（研究発表会担当）

研究会発表の原稿枚数を大幅に超過した発表者が複数いたため、今後はこのようなことが起きないようにアナウンスがあった。また、発表申込に伴う資料のやり取りについては、ウェブページ上にアップロードし、発表者に参照していただく体制に変更することが承認された。

12. 次期体制について：小川容子常任理事

総会で正式に選挙結果が認められた後に、担当役員などの調整を開始する旨が報告された。

以上